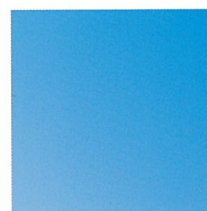


滋賀医科大学附属図書館



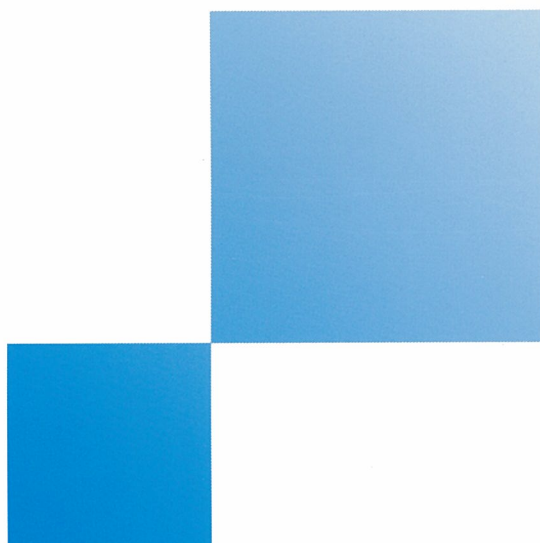
0902387982

ISSN 1348-7558



滋賀医科大学看護学ジャーナル

Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science
JN-SUMS



Vol. 9, No. 1, 2011

滋賀医科大学医学部看護学科

目次

－巻頭言－	1
看護学科長 瀧川 薫	
－特別寄稿－	
私が歩いた看護道 －看護部長としての4年間－	4
藤野みつ子	
滋賀医科大学医学部附属病院看護臨床教育センターの発足	9
澤井信江 稲垣寿美	
－総 説－	
Parent Education Theory と実践	13
－アメリカ合衆国ペンシルベニア州フィラデルフィア地域の9つの事例－	
上野善子	
－研究報告－	
保健所デイケアを継続する理由と今後の課題	18
－全国横断調査結果におけるデイケア担当者の意見の分析－	
植村直子 畑下博世 山田全啓 藤井広美	
看護実践におけるヘルスリテラシーの概念分析	24
河田志帆 藤井広美 畑下博世	
離島に居住する男性独居高齢者の“生活の術”	32
－大腿骨骨折術後の2事例からの考察－	
金城八津子 畑下博世 植村直子 上野善子 マルティネス真喜子 藤井広美	
病児・病後児保育のあり方に関する調査	36
－看護師として働く母親の実情とニーズ－	
白坂真紀 北原照代 埴田和史 桑田弘美	
手術後患者の皮膚知覚低下における特性	40
－Semmes-Weinstein monofilament による圧触覚閾値の評価－	
番所道代 吉田裕子 戸上伊代 中田牧人 松村祥恵 盛永美保	

遺尿症・夜尿症の親子にあった外来看護の検討……………	44
－遺尿症・夜尿症児をもつ親の語りから－	
森本佳子 松本綾	
心筋梗塞罹患後の身体活動量と自己管理行動の関連……………	48
吉田裕子 宮田香苗 戸上伊代 番所道代 盛永美保 宮松直美	
特別養護老人ホームにおける胃瘻造設要介護高齢者へのケア……………	53
－看護師の面接調査より－	
吉崎文子 太田節子	
－実践報告－	
高齢者を想定した基礎看護学実習前の演習効果について……………	59
－アンケートの自由記載をKJ法で分析して－	
青田正子 大城知恵	
総合看護学（看護管理学）実習における実習内容と学生の学び……………	63
太田節子 吉崎文子 藤野みつ子 西村路子 穴尾百合 中井智子 深田章子	
データマイニングを用いた精神看護学実習における学習内容の分析……………	67
田中智美 瀧川薫 上野栄一	
－投稿規程－ ……………	73
－編集後記－ ……………	80
編集委員長 加藤圭子	

「滋賀医科大学看護学ジャーナル」投稿規定

- I 本誌の和文名称は「滋賀医科大学看護学ジャーナル」、
英文名称は“Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science” (JN-SUMS)とし、
原則として1年に1回発行する。
- II 本誌発行の目的は次の通りとする。
1. 看護学の学術的な発展に寄与する。
 2. 本学看護学科または本学医学部附属病院看護部に在籍する教職員に研究発表の場を提供するとともに、学際的な共同研究活動を促進する。
 3. 本学の研究・教育活動の成果をひろく社会へ還元する。
- III 掲載される原稿は次の通りとする。
看護学ならびに看護学に関連する研究領域で、次の範囲に含まれるものとする。
1. 投稿原稿は未発表で、かつ二重投稿していないものに限る。
 2. 倫理的配慮がなされており、原稿中にその旨が明記されていること。
 3. 論文の種類は以下の通りである。
 - 1) 原著論文：独創的で新しい知見を含むもの
 - 2) 総説：研究の総括、文献についてまとめたものなど
 - 3) 研究報告：研究として報告し記録にとどめる価値のあるもの
 - 4) 実践報告：看護実践、教育実践、海外視察などの報告についてまとめたもの
 - 5) その他：看護学に関する意見、提言などで紀要編集委員会（以下、委員会とする）が適切と認めたもの
- IV 投稿資格
1. 本誌の目的に合致し、本学教職員が関与した論文であることとする。
 2. 筆頭著者は以下のとおりとする。
 - 1) 本学看護学科または本学医学部附属病院看護部に在籍する教職員
 - 2) 本学大学院医学系研究科看護学専攻の院生もしくは修了後1年以内の者
 - 3) その他、委員会が論文投稿を依頼した者、委員会が適切と認めた者
- V 掲載の決定
原稿の種類と投稿論文の採否は、査読者の意見を参考にして委員会が決定する。
査読者は2名とし、委員会が依頼した者が当たる。査読は、再査読までとする。原著論文の
査読者1名は、外部の研究者に依頼する。
本誌に掲載された全論文の全ての著作権(著作権法第27条及び28条に規定する権利を含む)は、
滋賀医科大学に帰属する。

VI 執筆要領

1. 原稿提出時：製版用原稿 3 部を提出する。フォーマットは別紙参照。
3 部のうち 1 部は原本、2 部は著者名と所属を除いた副本とする。
なお、投稿論文枚数は以下の通りとする。
原著論文：6 枚以内。総説、研究報告、実践報告、その他：4 枚以内。
いずれも倫理的配慮が明記されていること。
2. 原稿提出時には、以下の事項を記載した用紙を添付する。
 - 1) 表題（和文と英文）
 - 2) 著者名と所属部署名
 - 3) 希望する原稿の種類（原著、総説、研究報告、実践報告、その他）
 - 4) 図表および写真などの枚数
 - 5) ランニングタイトル（30 字以内）
 - 6) 必要な別刷部数
 - 7) 連絡先（E-mail アドレスと電話）
3. 原稿は原則として次の順序でまとめる。
 - 1) 表題（ただし副本 2 部には著者名と所属部署名は記載しない）
 - 2) 和文抄録：400 字程度
 - 3) キーワード：5 語句以内
 - 4) 緒言、はじめに
 - 5) 本論
 - 6) 結語、まとめ
 - 7) 引用文献
 - 8) 原著論文の場合：英文タイトル、英文著者名、英文所属名、英文抄録（250 語程度）を文末につける。
 - 9) 英文キーワード：5 単語以内
 - 10) 図表：図表および写真は必要最低限とし、図 1、表 1、写真 1 などの簡潔な表題をつける。
4. 謝辞をつける場合は、査読段階では別紙にまとめる。
5. 文字と表記については以下の通りとする。
 - 1) 外来語はカタカナで、外国人名や適当な日本語訳がない言葉は原則として活字体の原綴りで書く。
 - 2) 略語は初出時に正式用語で書く。
6. 英文抄録は、原稿提出前にできるだけ専門家（ネイティブスピーカーが望ましい）による英文校正を受けることとする。

VII 文献の書き方

文献は、本文中の引用順に該当箇所の右肩に1)、2) と上付で番号を付し、本文最後の文献欄に引用順に一括して記載する。なお、著者名はすべて記載する。

例：【雑誌の場合】

- 1) 滋賀太郎, 瀬田花子: 高齢者のストレスの特徴とメンタルケア. 日本老人看護学会雑誌, 8(3),

- 2) Riggio R. E., Tucker J. : Social skills and deception ability. Personality and Social Psychology Bulletin, 13, 568-577, 1987.

【書籍の場合】

- 3) 滋賀太郎：臨床看護学ハンドブック．23-52，朝日書店，大阪，1995．

【編集者の場合】

- 4) 大津浜子：非言語コミュニケーションを用いた看護．滋賀太郎，瀬田花子（編）：臨床看護技術 II，111-126，日本看護技術学会出版，東京，1998．
5) Otsu H. : An approach to the study of pressure sore. In Suzuki Y., Seta H. (Eds): Clinical Nursing Intervention, 236-265, Nihon Academic Press. New York, 1966.

【電子文献の場合】

- 6) ABC 看護学会：ABC 看護学会投稿マニュアル．2003-01-23（入手日）
<http://www.abc.org/journal/manual.html>

VIII 最終の製版原稿の提出方法

1. 著作権譲渡同意書について、所定の様式により共著者全員の署名押印を添付する。
2. 査読者および編集委員会の指摘点を検討して修正し、製版した論文原稿のプリントと論文のファイルを USBフラッシュメモリーに入れて提出する。USBには筆頭者氏名、パソコン機種OS名、ソフト名を添付する。USBは製本後返却する。
3. 原稿は「製版原稿とUSB在中」と朱書きした封筒に入れて提出する。
4. 原稿の提出先ならびに問い合わせ先
滋賀医科大学医学部 看護学科事務室付
「滋賀医科大学看護学ジャーナル」 紀要編集委員会委員長
Tel : 077-548-2455

IX 校正

初校のみ著者がおこなう。

X 著者が負担すべき費用

1. 別刷は実費にて作成することができる。
2. 規定の枚数を超過した原稿・図表・カラー写真など印刷上特別な費用を必要とした場合は、著者負担とする。
3. 同一の筆頭著者による複数投稿の場合は、委員会が掲載する価値があると判断した場合は認めることとし、原則として予算を超過する経費は著者負担とする。

附則：この投稿規定は、平成17年4月1日から施行する。

平成18年4月一部改定する。

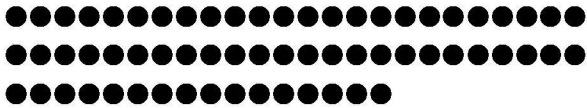
平成19年9月一部改定する。

平成20年2月一部改定する。

平成20年7月一部改定する。

平成21年6月一部改定する。

平成22年9月一部改定する。



文献

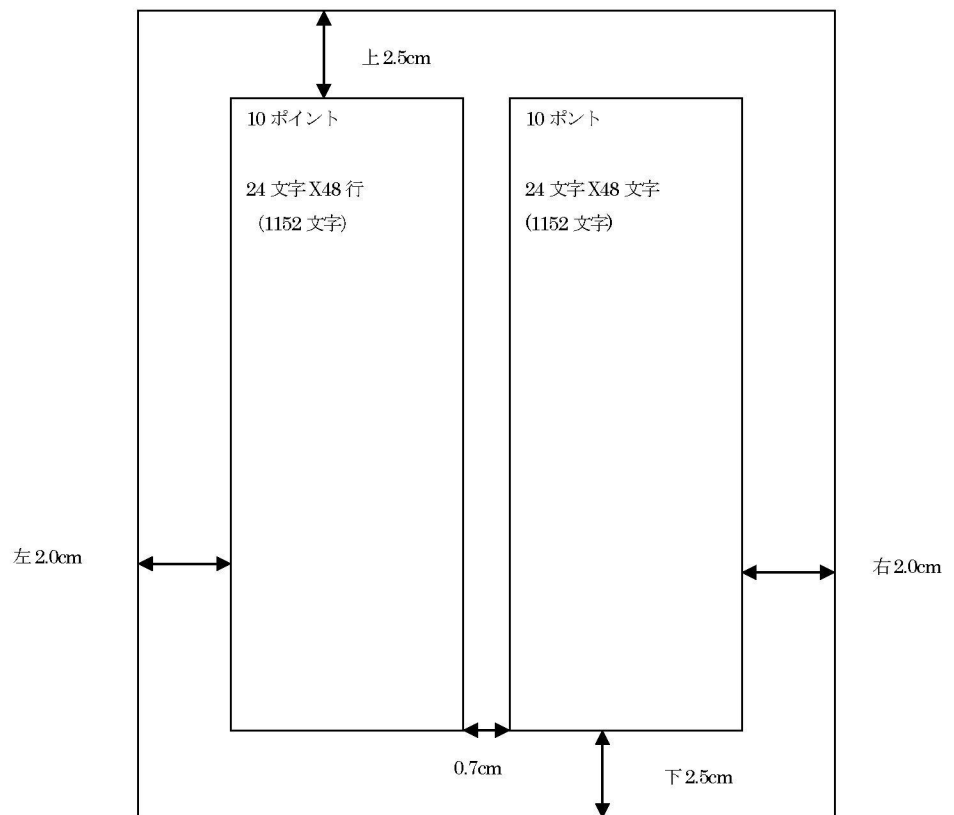
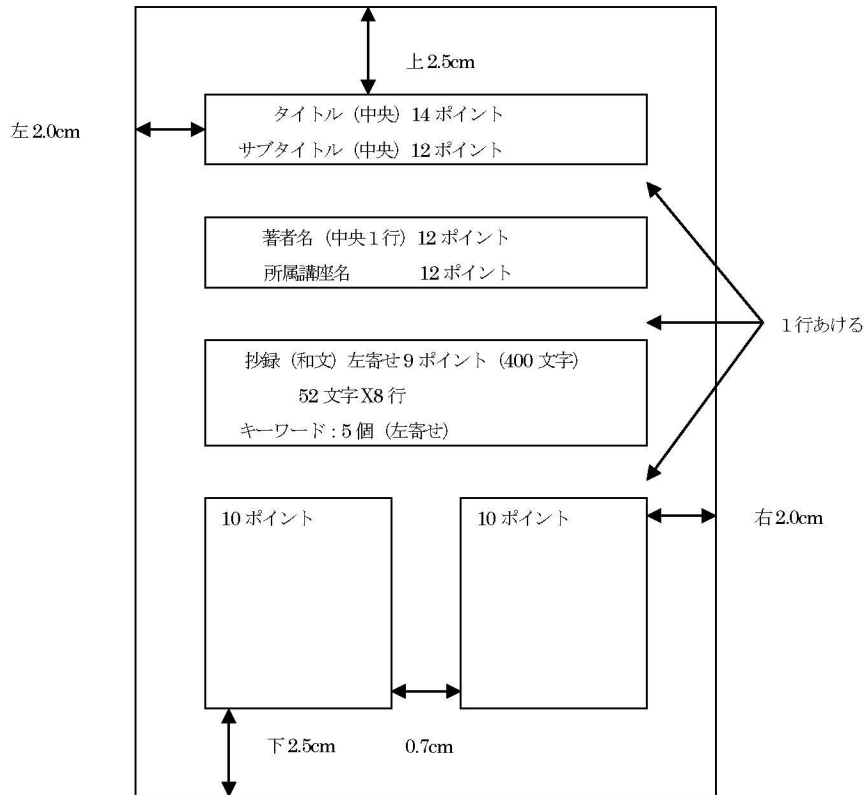
- 1) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 2) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
- 3) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

-
-
- 4) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
-
-
- 5) ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
-
-

注意

- 1. 使用ソフトはWordが望ましい。
- 2. 1ページに数行だけはみ出す場合は、前ページの行間を調整してそのページに収めてください。
- 3. できるだけ最終ページの左右カラムの長さを揃えてください。
- 4. MS明朝以外のフォントを使用すると文字間が自動的に詰まる文字があり、各行の文字数が均一でなくなる事があります。できるだけMS明朝を使用してください。
- 5. 画像を挿入したデータで入稿の場合は元の画像データ、または写真を添えてください。
- 6. フォーマット済みの原稿ファイルとしてご提出下さい。

別紙2
写真印刷フォーマット



滋賀医科大学看護学ジャーナル
第9巻 第1号

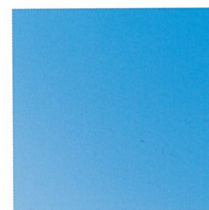
平成23年3月1日 印刷
平成23年3月15日 発行

発行所 滋賀医科大学
〒520-2192
滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL 077-548-2111(代)

発行責任者 馬場 忠雄

印刷所 宮川印刷株式会社

ISSN 1348-7558



**Journal of Nursing, Shiga University of Medical Science
JN-SUMS**

Vol. 9, No. 1, 2011

Shiga University of Medical Science, Faculty of Nursing